

令和2年度(2020年度)

管理事業名	博物館事業				総合計画の 体系	大綱 政策 施策	7 2 2	都市魅力 文化・スポーツに親しめるまちづくり 文化財の保存と活用		
主な歳出 予算科目	一般会計	(款)	10	教育費	(項)	5	社会教育	(目)	8	博物館費
部局名	地域教育部	予算執行所属		文化財保護課						
予算大事業名 博物館事業			上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名							
事業の目的と概要										
・地域の文化に関する歴史資料等を調査研究し、必要に応じて資料を収集・保管し、良好な状態で次世代に継承していきます。その成果をさまざまな展示や講演会等の普及活動、刊行物等により発信することで市民主体の生涯学習活動を支援し、地域の文化を発見、見直し、創造していきます。										
・市民が集い、多様な体験を活かしながら主体的に博物館活動に参加することで、さまざまな連携を深め、市民生活を豊かな潤いのあるものとします。										

I 事業の成果(実績)

指 標 名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成 果 指 標 の 定 義
特別展等回数		回	6	7	3	特別展や企画展などの年間開催回数
刊行物数		数	9	8	7	調査研究活動を公表する刊行物数
収蔵資料数		点	27,542	28,408	29,209	良好な状態で保管している館蔵資料の数
成果の 説明	令和2年度は調査研究の成果をふまえ、市民参画や学校教育との連携なども視点に入れながら3回の特別展などと関連イベントを実施しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止策として臨時休館した影響により、春季特別展や夏季展示等の開催は中止となりましたが、オンラインでの講座や講演会を実施するとともに、吹田市立博物館のホームページにバーチャルミュージアムのページを追加し、withコロナに対応した学びの場を提供しました。さらに、刊行物として展示図録、博物館だより、博物館館報を刊行し、調査成果を発表するとともに、中学校の歴史学習教材のデジタル化に取り組みました。館蔵資料については、特別収蔵庫、一般収蔵庫、平成29年度に増設した新収蔵庫において良好な状態で保管しています。また、新規受入資料に対して年間2回の燻蒸措置及び館内の環境モニター調査を行いました。					

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	753	707	401	△306
経常収入				
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	449	397	281	△116
経常収入 小計(a)	1,202	1,103	682	△422
経常費用				
給与関係費	50,009	49,062	52,571	3,509
物件費	70,400	64,459	71,529	7,070
維持補修費	6,397	23,710	3,038	△20,672
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	703	1,195	696	△499
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	57,340	57,469	57,597	128
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	3,265	3,294	3,287	△7
退職手当引当金繰入額	9,596	798	4,705	3,907
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	197,710	199,987	193,422	△6,565
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△196,508	△198,884	△192,741	6,143
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	536	-	-	-
特別支出 小計(e)	536	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	△536	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△197,044	△198,884	△192,741	6,143
一般財源充当額	132,836	144,769	133,658	△11,111
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△64,208	△54,114	△59,082	△4,968

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決 算 額 の 主 な 内 容
使用料及び手数料	新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る臨時休館による使用料の減(306千円)
物件費	主に、博物館改修工事実施設計業務委託料の増(10,102千円)と臨時休館に伴う夏季展示の開催中止による委託料の減(2,467千円)
維持補修費	主に、吸収式冷温水機1・2号機交換修繕及び非常用照明設備修繕の減(21,993千円)

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	1,202	1,103	682	△422
行政サービス活動支出	134,038	144,590	134,340	△10,250
行政サービス活動収支差額	△132,836	△143,487	△133,658	9,829
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	1,282	-	△1,282
投資活動収支差額	-	△1,282	-	1,282
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△132,836	△144,769	△133,658	11,111
一般財源充当額	132,836	144,769	133,658	△11,111
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の 主な内容	(行政サービス活動収入) 博物館使用料401千円、自動販売機設置手数料81千円、資料図録等有料頒布代179千円、自動販売機電気使用料ほか21千円
--------------	---

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指 標 名	年度	実績	単位あたりコスト	分析 内 容 (前 年 度 と の 増 減 理 由)
特別展等回数	平成30年度	6 回	2,586,220 円	単位当たりのコストの増は臨時休館により特別展等の開催を中止したためです。特別展等は博物館展示等事業にて執行しているため、博物館展示等事業の決算額を実績で割って単位当たりのコストを算出しています。
	令和元年度	7 回	1,998,238 円	
	令和2年度	3 回	3,828,876 円	
	平成30年度		円	
	令和元年度		円	
	令和2年度		円	

(単位:千円)

資産対照表				(単位: 千円)			
勘定科目	令和元年度末 A	令和2年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度末 A	令和2年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	3,294	3,287	△7
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	3,294	3,287	△7
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	1,240,407	1,183,066	△57,340	その他流動負債	-	-	-
土地	-	-	-	固定負債	31,136	32,628	1,493
建物・工作物	1,240,407	1,183,066	△57,340	地方債	-	-	-
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	31,136	32,628	1,493
無形固定資産	297	297	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	34,429	35,915	1,486
建物・工作物	-	-	-	純資産	1,213,428	1,154,346	△59,082
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	7,154	6,898	△256				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-				
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-	純資産の部合計	1,213,428	1,154,346	△59,082
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	1,247,857	1,190,261	△57,597	負債及び純資産の部合計	1,247,857	1,190,261	△57,597

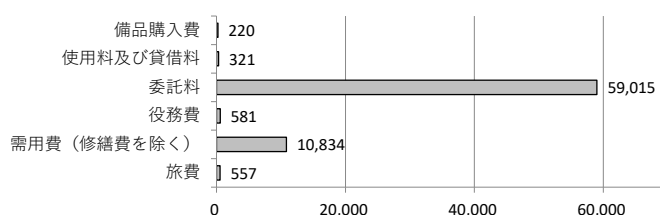
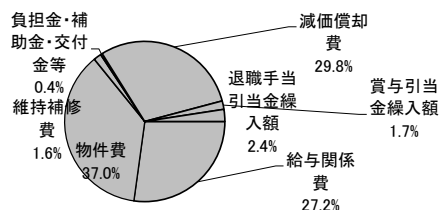
▽人にかかるコストの内訳

	常勤・再任用	会計年度任用等	特別職非常勤	
事業従事人数	月平均 5.5 人	年間従事延日数 879 日	年間従事延日数 100 日	
給与関係費等	45,179 千円	11,784 千円	3,600 千円	合計(千円) 60,563
内、時間外勤務手当	2,084 千円			

勘定科目	増減理由
------	------

事業用資産 建物・工作 物	博物館の建物の減価償却による減(55,415千円) 付帯設備(中央監視設備)の減価償却による減 (1,925千円)
事業用資産 無形固定資 産	電話加入権
重要物品	重要物品償却額 △256千円

物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

施設の名称	吹田市立博物館
取得年月日	平成4年(1992年)3月30日
建物・工作物の取得価額	2,797,819 千円
建物・工作物の減価償却累計額	1,614,753 千円
利用料金収入	401 千円

▽分析指標		(単位:%)			
分析指標	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	差
		A	B		B-A
施設維持補修費比率		0.2	0.8	0.1	△ 0.7
施設老朽化比率		53.6	55.7	57.7	2.0
受益者負担比率		0.4	0.4	0.2	△ 0.2
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		99.1	99.2	99.5	0.3
経常費用対公共資産比率		7.1	7.1	6.9	△ 0.2

【参考：市保有施設全体の老朽化比率は57.2%】

▽分析結果の説明

【貸借対照表】

博物館事業は、1,183,066千円の固定資産を有しています。このうち、建物の老朽化比率は57.7%と、市保有施設全体の老朽化比率の57.2%を上回っています。昨年度とくらべて、2.0ポイント老朽化が進行しています。

【行政コスト計算書】

経常費用は193,422千円であり、最も大きいのは物件費の71,529千円、次に大きいのは減価償却費の57,597千円、次が給与関係費52,571千円となっています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

吹田市立博物館は開館から28年以上が経過し、建物に付随する電気、機械、空調設備の老朽化が進行しており、施設の機能を維持するために設備の更新、補修が引き続き必要です。そのため財政負担の平準化の視点も入れて、吹田市公共施設（一般建築物）個別施設計画の作成が進められています。

令和元年度には、非常用発電機の修繕と年次計画であげられている空調設備更新工事のうち、吸気式冷暖水機1・2号機の交換修繕を実施しました。残りの空調機設備更新工事については、令和2年度から3年度にかけて実施します。

また、令和2年度には、吹田市公共施設最適化計画に基づき、令和3年度に予定している博物館改修工事の施設設計業務を行いました。

なお、同個別施設計画において令和2年度から令和12年度の間に進める大規模修繕の中で、常設展示のリニューアルを実施していく予定です。